

# 環境教育「まず、今できることから」

## 歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会  
 編集者：代表幹事 高橋 賢一  
 連絡先：市民活動支援センター  
 尾張旭市洪川町三丁目5番地7  
 (洪川福祉センター内)  
 TEL 0561-51-2878

もう一つは、日本人自身に自国の食文化の素晴らしさを再認識してもらいたいということである。  
 実際小学生には、愛の味を聞くと、上位三位はカレー、ハンバーグ、スパゲティで、カレーが知食だと思ってる。登録は世界でもよく受け入れられても、会席料理にも広く世界に知らせてもらえればと、思ってる。床の間や掛軸など、食する空間も含めた文化が歴史

**世界遺産登録は日本の食文化か。**  
 それともキムチか。

日本の食文化を世界無形文化遺産に登録する目的が動き出した。原産専政が日本の食材の信頼が揺らいでいる中、価値回復は重要な課題。ところでこれまでに世界遺産に登録された食文化にはどのようなものがあるか？  
 エスニック・イタリアなど地中海の食文化が既に登録されている。今秋には韓国宮廷料理も登録される予定。キムチも申請予定とか、登録の狙いは二つ、一つは世界の食文化に正しい日本食文化を発信し、広く理解してもらうこと。



中央自動車 藤岡イオンより降りて「ライオン」これは旨いと「オシロイ」  
 食べるものは「ライオン」が得意な「オシロイ」の差だ。



食文化は決して「デコレーション」のきらいや「デザイン」ではない。食の意識の中の安全性、安定性などは重要な心の問題といえよう。欠乏の時代は供給の安定性や栄養の面が表面に出るし、ゆたかな時代には安全性と娯楽性が「ビッグ」なテーマになる。  
 エム山 (山梨県) いま日本人はかつてない食のゆたかさを享受していると同時に、かつてないほど食が関心を集めている。  
 見れば、食品公害、成人病の本アムに「安全」の追求と娯楽性の追求の食の思想なのである。  
 エイ、安全と楽しさは、もちろん豊饒の時代の食の思想なのである。  
 外、安全と楽しさは、もちろん豊饒の時代の食の思想なのである。  
 内、安全と楽しさは、もちろん豊饒の時代の食の思想なのである。  
 外、安全と楽しさは、もちろん豊饒の時代の食の思想なのである。  
 内、安全と楽しさは、もちろん豊饒の時代の食の思想なのである。



▲九月の料理は「スズキ料理」で、ブドウ畑の中にある店、予約でないと席がとれない。

